

令和7年度 学校経営計画（案）

学校教育目標	夢と志をもち、自ら学び、共によりよく生きようとする砥川っ子の育成 「勤儉力行」 ～たくましく しなやかに～	
学 校 像	子 ども 像	教 師 像
『今日が楽しく、明日が待ち遠しく思える学校』		
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく活気に満ちた学校 ・落ち着いた美しい学校 ・家庭や地域に開かれた学校 	<ul style="list-style-type: none"> 勤 まじめに取り組む 儉 けじめのある生活をする 力 自分の力を出し切る 行 進んで行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添う教師 ・学び続ける教師 ・楽しく協働する教師 <p>【人間性・専門性・協働性】</p>
校長の経営方針	<p>「一心一徳」「異体同心」で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力的で笑顔に満ちた児童を育てる ○ 魅力的で活気に満ちた教職員になる ○ 魅力的で家庭や地域に愛される学校になる 	
教育目標達成のための重点取り組み		
項 目	重点取組内容	本年度の具体的な取組
①学力の向上 (ICT活用教育を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員による共通理解と共通実践 ○校内研究の推進による授業力向上 ○デジタル教科書、一人1PCの有効活用 ○南九州市立宮脇小学校とのオンライン交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な力を身に付ける。 ・学力向上対策評価シートを活かしたPDCAサイクルの構築を図る。 ・意欲を育む指導と評価の充実を図る ・話し合い活動の工夫、合理的配慮提供 ・ICT機器や情報の活用力を高める。 ・PCを文房具として活用できるような授業や環境を構築する。 ・交流地域の歴史や文化、特徴などに関心をもつとともに、ふるさと砥川の良さを発信していくことで、誇りと愛着を深める。
②心の教育 (いじめ防止を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感をもち思いやりにあふれる児童育成 ○いじめの未然防止、早期発見 ・解決、再発防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・出番、役割、承認のサイクルを意識した取り組みを進め、発達支持的生徒指導の浸透と道徳教育、人権・同和教育を核とした学習指導を実施する。 ・教育活動全体を通して、自分のよさや可能性を認識させるとともに、あらゆる他者を尊重する態度を育てる。 ・定期的な心のアンケートや法によるいじめの定義の職員への徹底を図り、児童が安心・安全な学校生活を送れるようにする。

<p>③健康・体づくり</p>	<p>○基本的な生活習慣の徹底</p> <p>○スポーツチャレンジへの積極的参加</p> <p>○食育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と協力し、「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みの徹底を図る。 ・積極的な取り組みを通して個や全体の体力を高めるとともに、運動の楽しさ、集う楽しさを味わわせる。 ・給食センターの栄養教諭や養護教諭と連携し、食の大切さや世界の状況を理解させる指導を行う。
<p>④業務改善・教職員の働き方改革の推進</p>	<p>○働き方改革の本質の徹底</p> <p>○時間外勤務上限の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や会議を効率的で効果的に削減、凝縮し、子どもと向き合う時間を確保する。 ・家庭・地域に対し、教員の本務に専念できる環境作りへの協力・連携を依頼する。 ・「ON/OFF」の切り替えができ活気に満ちた状態で働く姿を児童に見せるよう、メリハリをつけた業務遂行を行う魅力ある教員となる。 ・定時退勤日を設け、全員が確実に実施する。 ・業務に注力する内容の軽重を考慮ることにより、個人の勤務超過時間を平均40時間以内にする。
<p>⑤特別支援教育の充実</p>	<p>○特別支援教育の充実と拡散</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画及び特別な教育課程の詳細な立案により、支援を要する児童への個に応じた対応を徹底する。 ・全職員で全児童を育てるために、児童の情報共有と指導の方向性の確認を行う。 ・職員研修の実施により、インクルーシブ教育の視点で通常学級でも個別の支援を行える教員となる。
<p>⑥学校独自の項目</p>	<p>○地域との連携による互恵性のある教育活動の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携室との連携により、学校を開き、地域の力を活用して児童が生き生きと学習できる環境を構築する。 ・児童が地域の方に感謝する機会をその都度設け、地域も活性化する方途を探る。